

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●2022年度のホースランキング1位はフライトライン

I F H A (国際競馬統括機関連盟)から2022年度ロンジンワールドベストレースホースランキング(単位はポンド)が発表され、ブリーダーズクラシック(米G 1)などの勝ち馬フライトライン(140)がワールドチャンピオンに輝きました。日本調教馬ではイクイノックスの3位タイ(126/3歳としては世界トップ)を筆頭に計48頭がランクイン。これはアメリカ(63頭)、イギリス(56頭)に次ぐ国別3位で、2019年の44頭を上回る過去最多の頭数となります。

●2022年度JPNサラブレッドランキング発表

2022年度JPNサラブレッドランキングが発表されました(単位はポンド)。各部門・牡牝のトップは、2歳がドルチェモア(116)とリパティアアランド(114)、3歳芝がイクイノックス(126)とスターズオンアース(115)、3歳ダートがクラウンプライド(116)とヴァレーデラルナ(108)、4歳以上芝がタイトルホルダー(124)とソダシ(116)、4歳以上ダートがジュンライトボルトおよびテオオーケインズ(118)とショウナンナデシコ(111)となっています。

●世界のトップ100G I競走発表

2022年世界のトップ100G I競走がI F H A (国際競馬統括機関連盟)より発表されました(単位はポンド)。1位・米ブリーダーズクラシック(126.75)、2位・英チャンピオンS(124.75)、3位・凱旋門賞(124.25)など12か国・40競馬場のG I競走がリストに名を連ねる中、日本からは皐月賞の15位(121.00)を筆頭に計12競走がランクイン。これはオーストラリア(20競走)、アメリカおよびイギリス(18競走)に続き、世界4位の競走数となっています。

●大久保正陽氏が逝去

1月21日(土)、元騎手・元調教師の大久保正陽氏が逝去しました(享年87歳)。大久保氏は騎手として498戦51勝の成績を残して調教師に転身。調教師としては1994年のクラシック三冠馬ナリタブライアンや1992年に宝塚記念・有馬記念を制したメジロパーマーなどを手がけ、7007戦597勝の成績を残しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ウシュバテソーロが川崎記念(川崎)でテオオーケインズを下す

川崎記念(Jpn I、2月1日、川崎、2100^米)は、中団からゴール前200^米標識の手前で内目を突いて抜け出した2番人気のウシュバテソーロ(横山和生騎手、牡6歳、父オルフェーヴル)が、外から迫る1番人気のテオオーケインズを半馬身抑え、東京大賞典に続いて重賞2連勝。更に4馬身離された3着にニューモニュメント、途中から逃げたテリオスベルが4着に入り、3番人気のペイシャエスは7着、ノットウルノは8着に敗れています。

●高知の宮川実騎手が佐々木竹見CジョッキーズGPに優勝

1月31日に全国からリーディングジョッキーを集め、川崎競馬場で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見Cジョッキーズグランプリは、2、5着という成績で宮川実騎手(高知)が総合優勝。戸崎圭太騎手(美浦)は1、11着で第3位、川田将雅騎手(栗東)は7、4着で第5位でした。

●バーデンヴァイラーらが出走、2月9日の佐賀記念(佐賀)

佐賀記念(Jpn III、2月9日、佐賀、2000^米)は、昨年のマーキュリーC以来のタイトルを狙うバーデンヴァイラーが最有力、以下カブジオクタゴン、ラッキードリーム(兵庫)、ジャズブルース、ディパッセ、デルマルーヴルまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●エクリプス賞～フライトラインが年度代表馬に輝く

北米競馬の年度表彰であるエクリプス賞の受賞人馬が現地1月26日に発表され、2022年の年度代表馬にフライトライン(牡、2018年生、父タピット、J. サドラー厩舎)が選ばれました。フライトラインは昨年、G 1メトロポリタンH(ダート1600^米)、G 1パシフィッククラシック(ダート2000^米)、そしてG 1ブリーダーズカップクラシック(ダート2000^米)の3戦3勝。今春から米国ケンタッキー州のレーンズエンドファームで種牡馬入りします。

●G 1ペガサスワールドC～アートコレクターが快勝

1月28日に米国フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われたG 1ペガサスワールドC(4歳上、ダート1800^米)は、J. アルバラード騎手を背にしたアートコレクター(牡6歳、父バーナーディーニ、W. モット厩舎)が4馬身半差で優勝。2021年10月のウッドワードS(ダート1800^米)以来となるG 1・2勝目をあげました。

●G 1スチュワーズC～ゴールドデンシックスティが3強対決を制す

1月29日に香港のシャティン競馬場で行われたG 1スチュワーズC(3歳上、芝1600^米)は、C. ホー騎手が手綱を取ったゴールドデンシックスティ(騾7歳、父メダリーアドーロ、K. ルイ厩舎)が昨年のG 1香港カップの勝ち馬ロマンチックウォリアーと、同じく昨年のG 1香港マイルの勝ち馬カリフォルニアスパンゲルをそれぞれ2着、3着に下して優勝。7つ目のG 1制覇を果たしました。